

学力向上対策（G I G Aスクール構想）について

1 G I G Aスクール構想とは

新学習指導要領を踏まえ、未来を生きる子どもたちにICTを基盤とした先端技術を活用する力を身に付けさせるために、1人1台端末及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現させるものである。

- (1) 児童生徒の端末整備支援 → 「1人1台端末」等
- (2) 学校ネットワーク環境の全校整備
- (3) 緊急時における家庭でのオンライン学習環境の整備
- (4) G I G Aスクールサポーターの配置

2 ICTを活用した教育の必要性

- (1) 新学習指導要領において、情報活用能力は「学習の基盤となる資質・能力」との規定
- (2) 現在の社会におけるICT活用能力の重要性・グローバル社会で活躍できる人材の育成の必要性
- (3) 文部科学省の「G I G Aスクール構想」早期実現に向けた整備要請
- (4) 感染症・災害等による学校の臨時休業等の緊急時における学びの保障・地域格差の解消

3 本市各学校のICT環境整備について

(1) 1人1台端末

項目	内容
導入数 (児童生徒用及び教師用)	2, 260台 ※小学4年生から中学3年生の全児童生徒数 ※小学1年生から小学3年生の端末は、3年度以降整備予定)
使用OS	Windows 10 Pro
主なアプリケーション	Microsoft Office 365 Education
端末の仕様	タッチャブル型 (ディスプレイとキーボードが分離可能)
通信機能	Wi-Fiモデル (家庭に通信環境がある児童生徒用・教師用) LTEモデル (家庭に通信環境がない児童生徒用)

(2) 高速大容量ネットワーク

1人1台端末を円滑に活用するための高速大容量の通信ネットワーク（無線LAN）を各小・中学校に整備（令和2年11月完了予定）

4 児童生徒の端末活用場面について

（別紙資料）

5 1人1台端末の教育的効果について

- (1) 個に応じた学習による知識・技能の習得及び意欲の向上
- (2) プログラミング的思考力の育成
- (3) 資料共有、同時編集等の協働学習の実現
- (4) 調査・探求活動の日常化による主体的な学習
- (5) 学習成果の蓄積・評価
- (6) ICTリテラシー（情報活用能力）の向上

6 課題とその対策の予定について

- (1) 教職員の研修（端末の取扱いや授業への活用方法）
 - ①教職員研修「あかつき」GIGA端末研修
 - ②専門的知識を有する講師による研修（Microsoftに依頼予定）
 - ③市教育研究会の視聴覚・放送部会と連携したICT活用に関する研究
- (2) 端末使用のガイドラインづくり
 - ①本市児童生徒の実態に合った「GIGAスクール端末使用ガイドライン」を作成
- (3) セキュリティの確保について
 - ①学校・家庭において、各端末の安全な接続を確保するためのフィルタリング機能を設定
 - ②情報モラル教育の推進
- (4) 破損や紛失への対応
 - ①端末貸与規定の早期作成と学校・保護者へ周知・協力依頼

市内小・中学校における1人1台端末の活用について

1 学習指導要領における情報教育関係の記述について

- ☞ 情報活用能力を「学習の基盤となる資質・能力」と位置づけ【総則 第2の2(1)】
- ☞ IT環境整備とICTを活用した学習活動の充実に配慮【総則 第3の1(3)】
- ☞ 文字入力など基本的な操作の習得・プログラミング的思考の育成【小学校】 【総則 第3の1(3)(ア)(イ)】

2 学校における1人1台端末等の活用について

- 児童生徒のPC等活用発展のイメージ ～学びの姿の変容を3つのステップで想定～

	段 階	児童生徒の学びの姿	学年の目安
易 ↓ 難	ステップ1：「いつでも」「どこでも」使える。	電源のON・OFF、文字入力、静止画・動画撮影、データの保存・共有、基本的なソフトの活用、インターネット検索等ができる。	小学1～2年
	ステップ2：学びを深める。教科の本質に迫る。	授業等でステップ1の方法を活用し、学習する。	小学2年～中学3年
	ステップ3：学びを個人や社会の課題解決に生かす。	身に付けた情報活用能力を生かし、自ら設定した課題を解決する。	小学5年～中学3年

- 学校における具体的な活用場面 ※PC活用発展のイメージ ステップ1→① ステップ2→② ステップ3→③

1人1台端末を活用した学校生活のイメージ

～小学校2年生の場合～

8:00 登校 → PCを起動①

- 先生からの連絡確認①
- PCで健康状態を報告①
- 1日の予定確認①

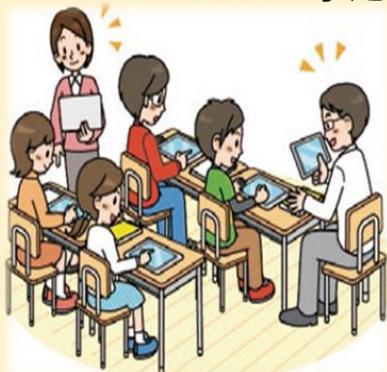


8:15 朝自習

個人PCへ小テスト配付
実施→先生PCへ提出①

8:30 朝の会

個人PCから電子黒板へ
データ転送
画像や資料等を提示し
ながらスピーチ①③



1校時 国語「登場人物の様子を読もう」

- ・わからない語句をPCで調べる②
- ・模範とする音読を視聴し、自分の音読に生かす②



2校時 図画工作「音づくりフレンズ～楽器づくり～」

- 制作途中の作品を撮影し
電子黒板に転送
制作過程について説明②

- クラウド上に完成作品を保存し共有① 鑑賞会をする②



3校時 算数「長方形と正方形」

- 教科書のQRコードを読み取り、**デジタルコンテンツ**を利用した理解②
- 考えを個人PCから電子黒板に転送し、全体で**考えを共有**②



5・6校時 生活「まちたんけん」

- 写真、インタビュー、動画係等分担して**施設見学**②
- 発表ソフトで文字や写真、動画を使い、**協働で同時編集**する②



4校時 体育「跳び箱遊び」

- ペアで動きを撮影し、それを見ながら改善点を**考察**②
- 学習後の**振り返り**（アンケート）を先生PCへ提出①



- 班ごとにお世話になった方へ**気持ちを伝える**方法を考える③
- ・ビデオメッセージ作成
- ・テレビ会議システムを利用した遠隔地との対話 等

昼休みや放課後等の自主的な活動

- プログラミングによりPepperに意図した動きをさせる③
- インターネットによる自主的な**調べ学習**③
- 係活動でポスター等の**作成**③（例：手洗い啓発ポスター）



16:00 下校時

PC電源オフ → キャビネットへ保管・充電 → 下校
 → （持ち帰る場合）許可を得てランドセルへ → 下校

3 家庭における活用について

課業日	長期休業日（夏休み等）	臨時休業日（災害時等）
<ul style="list-style-type: none"> ○授業内容と連続した家庭学習 <ul style="list-style-type: none"> ・個に能力に応じた課題に取り組む ・授業内容に関する調べ学習やまとめ ・グループ協働学習（同時編集）等 ※児童生徒の学習の必要に応じて持ち帰る 	<ul style="list-style-type: none"> ○毎日の学習（個に応じた課題、自由研究、学び支援サイト活用 等） ○オンラインによる補習授業 ※遠方の児童も自宅で参加できる ○児童生徒の健康状態等の把握、教育相談 	<ul style="list-style-type: none"> ○毎日の学習（個に応じた課題、学び支援サイト活用 等） ○課題やテスト等の配付・回収・採点 ○オンライン遠隔授業（一斉・個別） ○児童生徒の健康状態等の把握、教育相談 ○保護者への緊急連絡



4 1人1台端末導入に向けての取組

- 教職員研修の充実・・・専門講師による研修（オンラインも含む）、市視聴覚研究会とタイアップした研修、中核教員による校内研修の推進 等
- 各種資料の作成・・・1人1台端末の活用実践例集、PC使用のルール、PC持ち帰りのルール等 ○ 家庭でのWi-Fi環境等の調査 等